



# 研究所だより

那覇市立教育研究所

那覇市金城 3-5-3

Tel 891-3441 Fax 857-8681

naha-c@naha-c.nahaken-okn.ed.jp

所長 田中 浩三



幼稚園教育と「遊び」

所長 田中 浩三

「幼稚園研究員の研究と一緒に関わってみたい、幼稚園教育の様子が段々わかってきた。」「幼稚園教育の『遊び』を通して指導するという意味を理解していなかった。」これは、本研究所研究員の幼稚園教育に対する話題の中での一コマである。

幼稚園教育については、小中学校の多くの先生方が研究員と同様な状況ではないかと思っている。

特に小学校では、「幼小連携」や「小一プロブレム」等、幼稚園との関わりのある問題を抱えている。しかも同じ敷地に位置し、身近に接しているのにも関わらず、幼稚園での保育内容や進め方等がよく見えていない部分が多々あるように思う。

その理由として次のようなことも考えられる。

幼稚園では、教科書による指導や、四五分に区切られた時間割がなく、「遊び」を通して柔軟な時間割で学習が進められている。そのためか小中学校の先生方にとっては、学習内容や指導法が見えにくく、「遊びの指導」の捉え方に戸惑いがあるように思われる。

そこで「遊びの指導」について「幼稚園教育要領」を開いてみると、次のようなことが述べられている。

◎幼児の自発的な活動としての遊びは、発達を基礎を培う重要な学習であり、遊びを通して指導を中心に行うこと

◎その際、教師は幼児の主體的な活動を確保するために計画的な環境を構成すること

◎幼児の生活経験や発達の過程等を考慮して具体的なねらいや内容を組織した教育課程を編成すること

◎さらに、指導すべき領域として「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の五領域とそれぞれの具体的なねらいや内容が示されている。

以上のことから言えることは、一見すると幼児が自由に遊んでいるように見える「遊び」の時間であるが、実際には、幼児の発達段階や領域のねらいや内容に応じて詳細に計画が立てられ、環境を構成した指導が展開されている。このことは、本研究所研究員の幼稚園保育実践を見ても納得できることである。

●今年度も研究所主催の夏期講座が実施されました。「授業実践講座」(全10講座)には586名の参加がありました。次年度もぜひご参加ください。ありがとうございました。

## 平成24年度 「夏期授業実践講座」



7/30(月)

講座名:「国語科授業実践講座(小学校)」  
～言語活動の充実「説明文の読み」を通して～  
講師: 仲地千佳(浦添市立神森小学校教諭)



7/30(月)

講座名:「理科授業実践講座」  
～科学的な思考・表現を育成する授業改善～  
講師: 玉村かおり  
(那覇市立教育研究所指導主事)



- ①理科教育の基礎的なこともわかりやすく、実践における仕掛け方なども大変勉強になりました。「探究する楽しさ」を感じ取れる講座だと思います。
- ②中学校の実験でも使えるようなお話を聞かせてもらって、とてもためになりました。理科の目標や科学的思考の説明もわかりやすく聞くことができました。導入時の演示実験を工夫して生徒の心を最初に掴むことが大事だなと、鉱物やUVチェックビーズを使ってストラップを作っていました。



- ③「はじめ」「なか」「おわり」がすぐ見てわかる色分けされた作文用紙。とてもすごいアイデアだと思いました。ぜひ、私も実践してみたいと思います。
- ④国語の研究を進めていく中で、いつも疑問に感じていたことを説明して下さったので、胸のつかえが取れた気分になりました。要領に出てくる学習用語をまとめているので、抜け落ちがないように指導していきたいと思います。

8/3(金)

講座名:「キャリア教育指導実践講座」  
～キャリア教育と関連づけた学力向上の取組～  
講師: 黒木義成(那覇市立金城小学校校長)



- ①発達段階に応じた「なりたい自分」と「なれる自分」を広げる授業を展開したいと実感しました。また、授業内容と社会のつながりが実感できる地域人材を活用した授業を取り組んでみたいと思いました。
- ②「キャリア教育の視点を踏まえた『確かな学力の向上』」の文言の捉え方がより明らかになった気がする。夢の実現のための目標から職場体験学習をどうしてもイメージしがちだが、「日々の学習内容が実生活に関連すること」を実感させることが大切だと納得できた。

8/6(月)

講座名:「読み聞かせ講座」  
～プロに学ぶ、豊かな表現～  
講師: 佐渡山美智子  
(フリーランスネットワーク主宰)



- ①声の出し方で印象が変わることにびっくりしました。表情をつけて、いろいろ工夫して、範読をしたり、群読に取り入れていきたいです。
- ②読み聞かせや朗読の具体的なことから自分自身や周りを明るく笑顔にさせる精神的なことまで学び、気付かせてくれる楽しい講座でした。とても元氣になりました。今後授業でぜひ実践したいです。







8/10 (金)

講座名：「国語科授業実践講座（中学校）」  
～言語活動の充実を図る授業の組み立て方～  
講師：上江洲朝男（那覇市立教育研究所指導主事）



- 小 実際に自分たちで詩を読んで解釈をぶつけ合うのは小学校でも実践できるので、是非取り入れてやっていきたいです。学び合いのイメージが今日の講座で具体的になったので、いろいろな教科、授業で取り入れていきます。
- 中 先生の講座はいつも実践中心ですぐに取り入れられることも多く、また今やっていることの改善点も見えて自分の授業を見つめ直すよい機会となります。自分も教材を好きになるほど研究し学び合いのできる授業づくりに頑張ります。



- 中 数学的活動を取り入れていくことによって、生徒の興味関心を引きだし、それによって考えさせていく様努めていきたい。また、先生のワークシートの作成方法等とても参考になりました。
- 中 指導案での留意点、評価項目など改めて考えさせられました。教師の授業意欲＝生徒の学習意欲。教師の熱意がそのまま生徒の意欲につながるのだ。再認識させられました。生徒の気持ち、立場に立った授業づくりに励みます。



8/13 (月)

講座名：「数学科授業実践講座」  
～活用する力を育成する授業改善～  
講師：伊良皆恭子（那覇市教育委員会学校教育課指導主事）



8/6 (月)

講座名：「道徳授業実践講座」  
～子どもの主体的な取組を重視した授業改善～  
講師：仲盛光子（浦添市立当山小学校校長）



- 小 資料やグループワークで学んだことを今後の授業に生かしていきたいと思います。学級経営すべてが道徳につながっていることが改めて知らされてドキッとしました。
- 小 「場面発問」と「テーマ発問」について詳しく知ることができて良かったです。仲盛先生のお話もとてもわかりやすく、大変勉強になりました。

8/8 (水)

講座名：「算数科授業実践講座」  
～子どもの気づきを重視した授業の組み立て～  
講師：宮里晋（那覇市立古蔵小学校教頭）



- 小 先生の資料を振り返り自分なりの指導方法を確立したいと思います。教材研究をしながら、1コマ1コマの授業のめあてが何で、焦点化するべき課題は何なのか考えていきたいです。算数の面白さを子どもたちに伝えるため、私も「一つ一つ、少しずつ、順序よく」前に進んでいきたいと思っています。
- 小 子どもの目線に立って、授業を組み立てる、発問することを教材研究の段階でしっかり考えていくことがものすごく大切だと思いました。



8/13 (月)

講座名：「感想画指導実践講座」  
～子どものイメージを豊かにし、よさを引き出す～  
講師：西村貞雄（琉球大学名誉教授）



- 小 絵と言葉の関係や絵と描く前のポーズや土粘土で立体的に作るなどとても興味深い話が聞けたことがよかったです。今後ワンパターンの画用紙の与え方から脱すること、トリミングでのクローズアップ技法なども指導に取り入れていきたいです。
- 小 コンクールありきの指導ではなく、自分のイメージで描くための手立て、用具の活用や色つけの指導、十分考えて、楽しく感情豊かに描画できるようにしたい。

8/23 (木)

講座名：「ダンス指導実践講座」  
講師：森島美奈子（M's・un・Studio 代表）



- 小 一つ一つの動きを組み合わせるだけで、いろいろな表現のパターンが増えて、ダンスを作り出す楽しみを味わえました。
- 中 ①柔軟体操、ストレッチが大事 ②基本ステップから、様々なダンスに応用できる ③グループで協力してダンスで自己表現できるなどを学ぶことができました。とても楽しい講座でした。来年もぜひお願いします。



## 平成24年度「コンピュータ実践講座」

講師：上地弘美（株）興洋電子

今年度も7回にわたり「コンピュータ実践講座」が開催され、126名の先生方の参加がありました。



- 小 パワーポイントが苦手な人にも、ていねいにわかりやすく説明して下さるので、はすかしくて聞けないことも質問できて意欲がわきます。ありがとうございました。
- 中 一般のエクセル講座では教えられなかったことがわかって良かった。すぐ仕事につながる方法や、便利な裏技がわかって、得した気分でした。

## お勧め月刊誌

『児童心理』 金子書房

「児童心理」は創刊以来 60 余年の間、常に新鮮なテーマ、執筆陣で、日本の教育界をリードする教育雑誌です。子どもの心を育む保護者や、教師にとって心強い味方です。

図書室にあります♪

